

PIC16F84を使ったIDキーヤの新潟 Ver1.00 版と新潟 Ver1.10 版の仕様

JA1EPK 大日方さんの回路とJR1AVO 根岸さんのソースファイルを基に、新潟版の IDer を作りました。
プログラム・回路図 仕様書作成 :JA0GWB 基板作成 :JA0DFR PICROM 書込み :JA0BQU
パーツ提供 :JA0HJC

頒布について

1 セット:1500 円 (送料別)

基板、指定コールサイン書込み済み PIC16F84、CR パーツなど一式

申込先 :西新潟クラブ事務局 JA0BQU Abe Niigata City

e-mail : bqu@fsinet.or.jp ja0bqu@jarl.com

送出されるメッセージは下記の4通り、SW1,SW2 の組合せで選択。(ON:GND,OFF:OPEN)

SW1 SW2 : 送出されるメッセージの内容

MODE1 OFF OFF : VVV VVV VVV DE CALLSIGN CALLSIGN CALLSIGN

MODE2 ON OFF : TEST TEST TEST DE CALLSIGN CALLSIGN CALLSIGN

MODE3 OFF ON : QRZ QRZ QRZ DE CALLSIGN CALLSIGN CALLSIGN

MODE4 ON ON : CQ CQ CQ DE CALLSIGN CALLSIGN CALLSIGN

メッセージ中のスペースは全て同じ長さです。この例では説明のために桁を揃えてあります。

・さらに2種のコールサインを申込み時に指定することで SW3 で 切換えが可能。(上記との組合せで8通り)

SW3

OFF : CALLSIGN-1

ON : CALLSIGN-2

< 追加機能 >

・PTT入力を追加

・ID送出中の信号を出力(マイク切替などに利用可能)

・上記と合わせてID連動 PTT出力信号を追加

(ID連動 PTT出力使用時)

出力信号は4種類

(1) トーン出力 :最大 0~5Vのオーディオ出力

(2) ID Active :ID を出力中に+5V出力(新設)

ID送出時の PTT信号またはマイク切替信号に利用可能。ID送出モニターとしても利用可能。

(3) PTT :上記の ID Active 信号と9番ピン PTT(負論理)入力(新設)の反転との論理和を+5V出力(新設) ID送出と通常の PTTとの併用で PTT制御信号に利用可能。

(4) CW BaseBand :IDのモールス信号に同期した信号。

モニターやHF機等の直接キーイング信号として利用可能。

【注】(1)以外の信号を利用するときは基本部品の他に 10K の抵抗と2SC1815相当が出力信号毎に必要です。(接続は各信号出力端子から抵抗を通してベース入力・オープンコレクタ出力にするだけです。)

頒布される基板は Ver.1.0 版になりますから、追加回路は各自で製作してください。

以下は Ver1.0 と同じです。

・電源は3~9Vの電池を使用。

(6~9V推奨、5Vレギュレータ内蔵)

・初期回路に有った低周波発振回路を省略し、ソフト処理で対応。

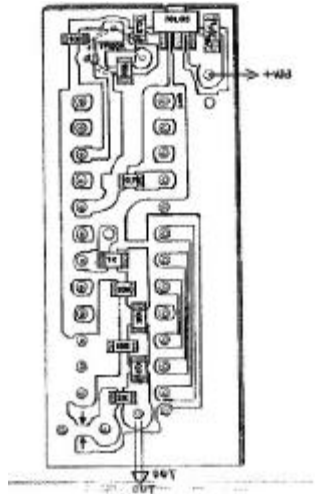
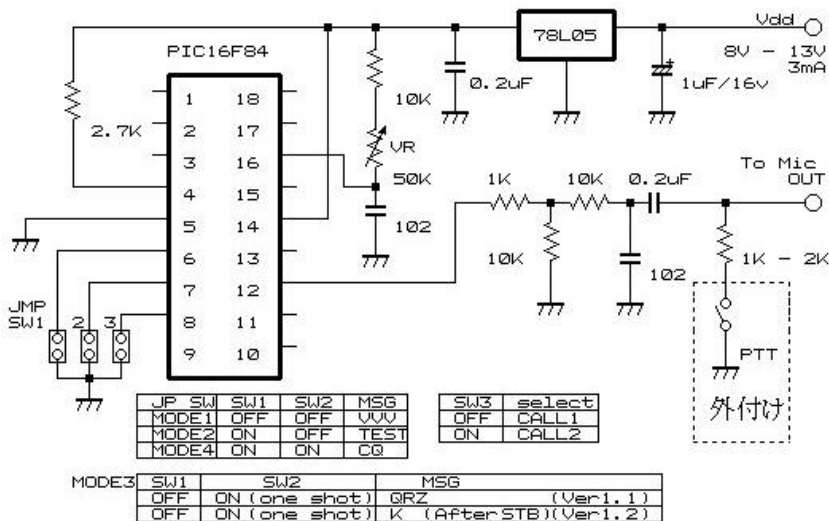
・スイッチ廻りのプルアップ 終端回路をソフト設定で省略。

・最低構成の場合、抵抗 2本、コンデンサ 2本、PICマイコンチップ 1個と、たったこれだけで IDが発生できます。

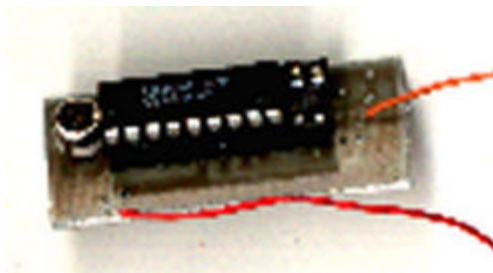
de JA0BQU Abe Niigata City

e-mail : bqu@fsinet.or.jp ja0bqu@jarl.com

URL: <http://www.fsinet.or.jp/~jh0yqp/>



PICを使った簡易IDer回路図 Ver1.0



新潟Ver1.1版対応IDキーヤ全回路図

